

## 国語「言語文化」単元の評価規準

内容のまとめり		単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 情報の扱い方に関する事項 (3) 我が国の言語文化に関する事項	A 「書くこと」	○散文に触れ、自分の体験や思いを表現しよう	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	○「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。(A(1)イ)	○学習の見通しをもって、散文(随筆・物語等)を書くことを通して、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、粘り強く表現の仕方等を工夫しようとしている。
		○短歌や俳句の表現技法に触れ、自分の体験を表現しよう	○言語文化に関わる情景や心情を理解するために必要な語句の量を増し、文章の中で活用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ○本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。(1)オ)	○「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア) ○「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。(A(1)イ)	○伝えたい内容に則して素材を集め、その素材を活用して、内容が読み手に効果的に伝わるよう工夫しようとしている。
	B 「読むこと」	○古典作品に描かれた多様な人間関係を現代につなげて考えよう	○古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ)	○「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(B(1)オ)	○学習の見通しをもって、作品に描かれた人間関係について話し合うことを通して、進んで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。
		○近代以降の文学作品を読み、人物の考え方や心情の変化について考えよう	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ウ)	○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。(B(1)イ) ○「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(B(1)オ)	○作品を通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。